

利用者のために

- 1 本書は昭和62年（または昭和62年度）の資料を中心に編集したのですが、多くの統計資料については利用者の便宜をはかるため昭和53年前後まで、またとくに必要なものについてはそれ以前にまでさかのぼって収録しました。
- 2 資料は、官公庁・民間団体ならびに庁内各局からの報告によるもの、または本市において直接調査収集したものです。
- 3 資料の出所名は、各表の下部に掲げ、報告書などによるものは、その書名を付記してあります。
- 4 資料は、ほとんど仙台市域を区域としていますが、「労働」、「災害・治安」、「電気・ガス及び上下水道」、「司法」などについては、一部市域外を含むものもあります。その場合は頭注にその旨掲載してありますから利用にあたっては特に注意してください。また、宮城総合支所（＝旧宮城町・昭和62年11月1日合併）、泉、秋保総合支所（＝旧泉市、旧秋保町・昭和63年3月1日合併）分は、合併以前の資料については、資料の収集が可能な範囲で最新の資料について1～2年分新市域に組替えて掲載しております。組替えを行った統計表には年次または表題（表全体が組替の場合）に（組替）の表示をしております。組替表示のないものは、特に注記のない場合、当該年次・時点の市域による資料であります。

なお、統計表中、国勢統計区別、地区別、旧市町別の表については、国勢統計区図（表紙裏面）、仙台市域図（裏表紙裏面）を参照してください。

- 5 資料について、さらに詳細な数字が必要な場合、あるいは疑義がある場合などは、本市調査統計課、あるいは各資料出所機関に照会してください。
- 6 統計表の一般的説明は必要に応じて頭注を付し、数字の単位については各表上部左端に注記しましたが、一見して明らかなものは省略しました。なお、数字の単位未満については、四捨五入、あるいは切捨てである箇所もあるので、総数と内訳の計が一致しない場合もあります。
- 7 「都市統計協議会」の会員都市および東京都区部、指定都市を含む人口50万人以上の都市の主要事項については巻末に一括して掲げてあります。
- 8 「地方集計結果」とは、本市または県において独自集計したもので概数です。したがって後日公表される国の結果（確定数）と若干相違する場合があります。
- 9 統計表中「年」とあるのは暦年、「年度」とあるのは4月から翌年3月までの期間を示し、また「何年・月末」「何月何日」とあるのはそれぞれの現在日を示します。
- 10 統計表中の符号の用法は次のとおりです。

「0」……………単位未満	「—」……………該当数字なし
「…」……………不詳	「χ」……………該当数字はあるが、発表に さしつかえのあるもの。
「r」……………訂正数字	「P」……………概数